



亀中だより

No.9 令和8年5月18日 文責:岡田



For The Students!

防災学習は人権学習として…

自分の生き方を学ぶ 人とのかかわりを学ぶ 判断し、行動する

3年生のみなさんは、入学式で私がどんな話をしたか、覚えてくれているでしょうか。

あなたたちが生まれたのが2011年4月以降、つまり東日本大震災の直後だったこと、あなたたちが生まれたころ日本はとてつもなく大きな悲しみに包まれていたこと、あなたたちの誕生、成長と時を同じくして、日本はかつてないほどに団結し、協力し、支え合ってきたということ、そして、あなたたちはその「時代」の象徴的な存在であること…。

あれから2年、今年の亀山中学校は、3年生はもちろん、全校生徒が東日本大震災以降に生まれた世代となりました。東日本大震災そのものを知らずとも、その悲しみとその経験から得た教訓は、忘れるわけにはいきませんし、伝え続けていかななくてはなりません。30年以内に発生する確率が60~90%以上と言われます。我々の人生の途中で必ず発生すると考えておいてもいいくらいではないでしょうか。

5月13日、本年度最初の避難訓練を行いました。各教室からグラウンドへの移動、整列、点呼までにかかった時間は4分30秒でした。発生 の時間帯によっては、学校のいろいろな場所にいる可能性があります。今後はそれぞれの場所からの避難経路も確認しておきましょう。

また、被災時には「災害伝言ダイヤル」が活用できるようにもしておきたいものです。各ご家庭でも災害後の連絡の取り方についてご確認ください。

災害用伝言ダイヤル171

- 1 171 をダイヤルする
- 2 録音は 1 再生は 2
- 3 連絡を取りたい電話番号
- 4 1 を押して 録音 or 再生

④ 録音方法

30秒以内に
「あいたいよ」で録音!

- あ あなたの名前は?
- い 今いる場所はどこ?
- た 誰と一緒にいる?
- い 痛いところは? (ケガや体調)
- よ 予告 (次回の連絡・次の予定)

9 を押して終了



亀山市防災安全課防災安全グループにおいて、地域のハザードマップ等が作成されています。亀山市ホームページからもご覧いただけますので、ご参照ください。(多言語版あり)

亀山市総合防災マップ

<https://www.city.kameyama.mie.jp/docs/2021033000025/>

避難訓練を含む「防災の学習」は“人権学習”といっても過言ではありません。災害時あるいは災害後の行動を考えることは、自分の生き方を考えることであり、人とのかかわりを考えること、そしてその場での「判断」と「行動」ができるようになることです。高齢者や障がい者の方々など、災害時の避難行動や避難所などでの生活が困難な方を「避難行動要支援者」と呼びます。中学生のみなさんが、こうした方々の“支援者”として活躍して欲しいのです。